

西暦	和暦	月/日	劇場	外題	左官長兵衛	女房お兼	娘お久	和泉屋手代文七	家主甚八	角海老お駒	和泉屋清兵衛	備考	典拠
1891	明治24	2/1~2/25	大阪中劇場	ぶんひちもとゆいせうわのしやしん文七元結情話写真正作住家より文七婚礼まで	〈左官正作〉 《3》片岡我当	〈女房おなを〉 実川正朝	〈娘おつる〉 《4》市川市蔵	中村霞仙		〈佐の榎屋新右衛門〉 《3》片岡市蔵	〈泉屋半兵衛〉 片岡我蔵	【語】翁屋さん馬が／高座のつゞきもの	『近代歌舞伎年表・大阪篇』
1891	明治24	3/15~3/29	京都祇園館	ぶんひちもつといじようわしやしん文七元結情話写真正作住家より文七婚礼まで	〈左官正作〉 《3》片岡我当	〈女房お直〉 《1》中村芝鶴	〈娘おつる〉 《1》実川延二郎	坂東寿之助		〈さの榎屋新右衛門〉 中村琥珀郎	〈泉屋半兵衛〉 片岡我蔵	【語】翁家／さん馬が／高座／のつゞきもの	『近代歌舞伎年表・京都篇』
1891	明治24	8/18~	名古屋千歳座	文七元結情話鑑三幕	〈左官正作〉 松本錦升			中村友太郎		〈佐の松や新左衛門〉 市川右家三			『近代歌舞伎年表・名古屋篇』
1892	明治25	6/9~	名古屋笑福座	古今情文七元結三幕									『近代歌舞伎年表・名古屋篇』
1894	明治27	9/1~	新盛座	ぶんしちもとゆひなさけのしんわ文七元結情話新話本所達磨横町・大川端石置所・新吉原佐野榎・吾妻ばし身投・茅場町和泉屋・庄作住居婚礼	〈左官庄作〉 蝶昇	〈女房お直〉 梅三郎	〈娘おつる〉 市次郎	〈手代文七〉 梅三		〈佐野榎主新兵衛〉 宇十郎	〈泉屋半兵衛〉 歌女太郎		辻番付
1896	明治29	10/15~	名古屋宝生座	人情話文七元結上中下								中村梅昇、片岡我久蔵ほか。	『近代歌舞伎年表・名古屋篇』
1899	明治32	11/1~11/23	京都夷谷座	文七元結情話写真左官正作住家より婚礼迄	〈左官正作〉 市川竜次郎	〈女房お直〉 中村梅女	〈娘おつる〉 実川若二郎	〈伊勢屋手代文七〉 嵐璃キ升		〈佐の榎屋新右衛門〉 嵐橘緑	〈伊勢屋六兵衛〉 浅尾滝十郎	【語】翁家さん馬が／高座のつゞきもの	『近代歌舞伎年表・京都篇』
1901	明治34	10/15~	改良座	文七元ゆひ吉原佐野榎楼内証・吾妻橋身投・達磨横丁長兵衛内	伊井蓉峰	大須賀豊	小中村又三郎	福島清		〈佐野榎女房お仲〉 松尾次郎	〈近江屋卯兵衛〉 西山米次		辻番付
1902	明治35	4/1~	大阪南座	元結文七								市川紅車一座。	『近代歌舞伎年表・大阪篇』

西暦	和暦	月/日	劇場	外題	左官長兵衛	女房お兼	娘お久	和泉屋手代文七	家主甚八	角海老お駒	和泉屋清兵衛	備考	典拠
1902	明治35	4/15～	真砂座	文七元ゆひ 吉原佐野槌楼・吾妻橋袂救助・左官長兵衛内	伊井蓉峰	〈女房お時〉 市川三八	沢村小主水	福島清		〈佐野槌楼亭主〉 《5》大谷馬十	〈近江屋卯兵衛〉 岡本貞次郎		辻番付
1902	明治35	10/11～11/4	歌舞伎座	人情噺文七元結 割下水長兵衛内・吉原角海老内証・石置場文七身投・本銀町和泉屋店・長兵衛内婚礼	《5》尾上菊五郎	《5》尾上栄三郎	《2》尾上丑之助	《6》市村家橘	〈家主喜兵衛〉 《3》片岡市蔵	《5》中村芝翫	《4》尾上松助		辻番付・絵本番付・筋書
1903	明治36	6/6～	名古屋末広座	文七元結心情話	〈左官正作〉 市川団升					〈佐野槌源右衛門〉 梅暁	嵐三次郎		『近代歌舞伎年表・名古屋篇』
1904	明治37	2/10～	大阪稲荷文楽座	人情話文七元結三幕	中村信濃	中村雁十郎			〈家主喜兵衛〉 中村珊昇	中山南枝			『近代歌舞伎年表・大阪篇』
1904	明治37	12/1～	宮戸座	文七元結 佐野槌内証・吾妻橋身投・左官長兵衛内	《3》沢村訥升	久女八	竹松	《1》沢村宗之助		〈佐野槌女房お仲〉 松之助			辻番付
1907	明治40	1/1～	京都千本座	まつしまだいせう ぢきかぢみ 松島台正直鑑一幕	〈左官正作〉 片岡市之正		〈娘お鶴〉 源二郎	冠蔵			〈和泉屋六平〉 片岡市昇		『近代歌舞伎年表・京都篇』
1907	明治40	12/14～	大阪天満座	文七元結								市川新之助一座。	『近代歌舞伎年表・大阪篇』
1910	明治43	12/24～	名古屋末広座	文七元結 上中下								嵐璃昇一座。	『近代歌舞伎年表・名古屋篇』
1911	明治44	2/17～	歌舞伎座	文七元結 割下水長兵衛内・吉原角海老内証・多田薬師前身投・本銀町和泉屋店・長兵衛内婚礼	《6》尾上菊五郎	《2》中村駒助	《5》岩井糸三郎	《7》坂東三津五郎	〈家主喜兵衛〉 中村翫助	《3》坂東玉之助	尾上菊三郎	【角】三遊亭円朝遺稿／五世菊五郎誉世話物	辻番付・絵本番付
1912	明治45	2/1～	横浜喜楽座	文七元結 扇屋台所・大川岸熊五郎義侠・熊五郎内鶴亀	〈大工熊五郎〉 中村雀之助	〈女房お松〉 中村梅昇	〈娘おつる〉 中村新若	〈手代文七〉 嵐橋利之助		〈紀の国屋後家〉 嵐瑠太郎	〈扇屋清兵衛〉 嵐吉十郎		辻番付

西暦	和暦	月/日	劇場	外題	左官長兵衛	女房お兼	娘お久	和泉屋手代文七	家主甚八	角海老お駒	和泉屋清兵衛	備考	典拠
1912	明治45	5/1~	大阪松島八千代座	文七元結二席								【角】翁家さん馬／高座噺中村福円ほか。	『近代歌舞伎年表・大阪篇』
1912	大正1	10/1~	名古屋笑福座	文七元結心情話	〈左官正作〉 嵐喜珪								『近代歌舞伎年表・名古屋篇』
1912	大正1	10/15~	名古屋京枡座	文七元結心情話								嵐喜瑠、中村梅暁ほか。	『近代歌舞伎年表・名古屋篇』
1912	大正1	12/5~12/12	名古屋御園座	文七元結 割下水長兵衛住居・吉原角海老内証・多田薬師身投・本銀町和泉屋・長兵衛内婚礼	《6》尾上菊五郎	尾上紋三郎	《5》岩井桑三郎	《7》坂東三津五郎	〈家主喜兵衛〉 中村翫助	尾上菊三郎	尾上菊三郎	【角】五世菊五郎／誉世話物三遊亭円朝遺稿。	『近代歌舞伎年表・名古屋篇』
1915	大正4	8/31~	宮戸座	文七元結 新吉原佐の樋・吾妻橋投身・左官長兵衛内	竹三郎	《5》市川鬼丸	《2》市川莚蔵	吉松郎		〈佐の樋女房お仲〉 高麗三郎	〈堺屋主人〉 寿朝		辻番付
1915	大正4	8/31~	京都南座	文七元結 割下水長兵衛住居・吉原角海老の内証・本所石置場・長兵衛住居婚約	《2》尾上卯三郎	《4》沢村源之助	中村紫香	《5》中村福之助	〈家主喜兵衛〉 尾上卯十郎	〈角海老新右衛門〉 《3》阪東寿三郎	《5》市川滝十郎		『近代歌舞伎年表・京都篇』
1915	大正4	10/17~	名古屋帝国座	文七元結								梅暁、関三郎ほか。	『近代歌舞伎年表・名古屋篇』
1915	大正4	12/4~	本郷座	文七元結 吉原佐野樋身売・吾妻橋身投救助・長兵衛住居結納	伊井蓉峰	〈女房お時〉 丸山操	石川新水	木村操		〈佐野樋女房お仲〉 河合武雄	〈和泉屋卯兵衛〉 松本要次郎		辻番付
1917	大正6	12/11~	大国座	人情噺文七元結 本所左官正兵衛内・同多田薬師門前・元の正兵衛内・吉原佐野樋内証・吾妻橋身投・再び正兵衛内	〈左官正兵衛〉 中村竹三郎	〈女房お直〉 市川紅若	〈娘おつる〉 中村勝五郎	尾上梅我		〈樋屋新右衛門〉 市川団右衛門	〈泉屋半兵衛〉 《2》中村翫右衛門		辻番付

西暦	和暦	月/日	劇場	外題	左官長兵衛	女房お兼	娘お久	和泉屋手代文七	家主甚八	角海老お駒	和泉屋清兵衛	備考	典拠
1919	大正8	3/1~3/25	帝国劇場	人情噺文七元結 左官長兵衛内・吉原角海老楼・東橋々詰身投・石町和泉屋店・割下水左官内	《6》尾上菊五郎	《3》尾上菊次郎	《4》市川米蔵	《7》坂東三津五郎	中村翫助	《4》河原崎国太郎・〈亭主文蔵〉 《1》中村吉右衛門	《4》尾上松助	三遊亭円朝口演。	辻番付・筋書
1919	大正8	3/12~	御国座	人情噺文七元結 割下水長兵衛内・吉原角海老内証・吾妻橋々詰身投・本銀町和泉屋店・割下水長兵衛内	尾上紋三郎	市川紅若	沢村清之助	《6》市川団之助	市川若猿	中村竹三郎	中村鶴十郎	三遊亭円朝口演。	辻番付・筋書
1919	大正8	4/1~4/22	大阪中座	文七元結 割下水長兵衛住居・新吉原佐の樋の内証・吾妻橋の東詰・長兵衛内の婚約	《2》実川延若	〈女房お直〉 実川正朝	〈娘おひさ〉 《6》中村福之助	《2》市川右団治	〈家主喜兵衛〉 《4》浅尾大吉	〈佐の樋屋新右衛門〉 嵐巖笑	〈和泉屋半兵衛〉 《5》嵐璃寛		『近代歌舞伎年表・大阪篇』
1920	大正9	9/20~	大国座	人情噺文七元結 本所正作住居・多田薬師前・元の正作住居・吉原佐の樋内証・吾妻橋際身投・茅場町和泉や・本所正作住居	〈左官正作〉 沢村哥川	〈女房お直〉 中村吉十郎	〈娘おつる〉 市川鬼美三	中村駒八		〈佐の樋新右衛門〉 市川白蔵	〈和泉や半兵衛〉 中村紅雀		筋書
1920	大正9	10/15~	麻布南座	人情噺文七元結 割下水長兵衛内・吉原角海老内証・石置場文七身投・本銀町和泉屋店・割下水長兵衛内	《2》河原崎権十郎	《2》市川左升	千代寿	清之助	〈喜兵衛〉 米左衛門	〈駒五郎〉 《5》市川小団次	七百蔵		辻番付・筋書
1920	大正9	12/17~	中央劇場	人情噺文七元結	竹三郎								『配役総覧 第六版・第七版』
1921	大正10	12/未詳~	神田劇場	人情噺文七元結 割下水長兵衛内・吉原角海老内証・本所石置場身投・本銀町和泉屋店・長兵衛内婚礼	尾上紋三郎	吉之助	太郎	莚左久	〈喜兵衛〉 柏十郎	琴右衛門	左馬之助	三遊亭円朝口演・榎戸賢二作。	筋書

西暦	和暦	月/日	劇場	外題	左官長兵衛	女房お兼	娘お久	和泉屋手代文七	家主甚八	角海老お駒	和泉屋清兵衛	備考	典拠
1922	大正11	1/11～	大阪松島八千代座	ぶんしちもとゆひくるはばなし文七元結廓話 左官正作内・両国川岸・正作内・吉原佐野榎屋・吾妻橋畔・伊勢屋店先・正作内婚礼	〈左官正作〉 嵐佳笑	〈女房お直〉 嵐豊三郎	〈娘おつる〉 嵐吉太郎	〈伊勢屋手代文七〉 嵐巖右衛門		〈佐野榎屋新左衛門〉 市川右田作	〈伊勢屋六兵衛〉 嵐巖二郎		『近代歌舞伎年表・大阪篇』
1923	大正12	1/31～	京都相生劇場	人情噺文七元結六場	中村梅暁	〈女房お直〉 若太郎	〈娘おしづ〉 春之助	琴円		〈女将おきん〉 我若	〈和泉屋勘左衛門〉 鮫之助	三遊亭円朝原作。	『近代歌舞伎年表・京都篇』
1923	大正12	6/15～6/30	大阪天満八千代座	文七元結廓話 左官正作内・大川端・佐野榎座敷・元の正作内・吾妻橋投身・和泉屋店先・元の正作内祝言	〈左官正作〉 中村鴈衛門	〈女房お直〉 嵐豊三郎	〈娘お鶴〉 《7》浅尾友蔵	中村小福		〈佐野榎屋新左衛門〉 松本高麗次郎	〈和泉屋六兵衛〉 中村福三郎		『近代歌舞伎年表・大阪篇』
1924	大正13	3/1～3/31	宝塚宝塚中劇場	人情話文七元結								《6》尾上菊五郎一座。	阪急文化アーカイブズ
1924	大正13	12/1～	邦楽座	人情話文七元結 左官長兵衛内・吉原角海老楼・本所大川端・長兵衛住居	《6》尾上菊五郎	《5》市川鬼丸	《7》尾上栄三郎	《4》市川男蔵	《2》市川照蔵	尾上菊三郎	市川団右衛門	三遊亭円朝口演。	筋書
1925	大正14	11/17～	大国座	人情話文七元結 左官長兵衛内・吉原角海老楼・本所大川端・元の長兵衛内	菊右衛門	清之助	千代左	哥川	竹之助	〈お橘〉 市之丞	駒桜	三遊亭円朝口演。	筋書
1928	昭和3	2/1～2/25	新橋演舞場	人情噺文七元結 左官長兵衛内・吉原角海老楼・本所大川端・銀町和泉屋・本所長兵衛内	《6》尾上菊五郎	《3》尾上多賀之丞	《9》尾上芙蓉	《4》市川男蔵	《2》市川照蔵	尾上菊三郎	尾上菊三郎	初代三遊亭円朝口演。	筋書
1928	昭和3	2/10～	大国座	人情噺文七元結 割下水長兵衛内・吉原角海老内証・吾妻橋詰身投・割下水長兵衛内	竹三郎	家太郎	国太郎	幹尾	紅雀	市之丞	琴右衛門	三遊亭円朝口演。	筋書

西暦	和暦	月/日	劇場	外題	左官長兵衛	女房お兼	娘お久	和泉屋手代文七	家主甚八	角海老お駒	和泉屋清兵衛	備考	典拠
1932	昭和7	11/12～	観音劇場	文七元結	中村竹三郎								『配役総覧 第六版・第七版』
1933	昭和8	12/5～12/11	名古屋御園座	人情話文七元結 左官長兵衛内・吉原角海老楼・本所大川端・銀町和泉屋・長兵衛住居	《6》尾上菊五郎	《3》尾上多賀之丞	《4》尾上丑之助	《4》市川男女蔵	《2》市川照蔵	《4》坂東竹三郎	尾上菊三郎	《3》河竹新七作。	筋書
1935	昭和10	2/1～2/15	京都南座	人情話文七元結 左官長兵衛内・吉原角海老楼・本所大川端・銀町和泉屋・長兵衛住居	《6》尾上菊五郎	《女房おかね》 《3》尾上多賀之丞	尾上志げる	《4》市川男女蔵	《2》市川照蔵	《4》坂東竹三郎	《6》大谷友右衛門	三遊亭円朝口演、《3》河竹新七作。	『近代歌舞伎年表・京都篇』
1935	昭和10	9/22～9/28	歌舞伎座	人情噺文七元結 左官長兵衛内・吉原角海老楼・本所大川端・銀町和泉屋・長兵衛住居	《6》尾上菊五郎	《3》尾上多賀之丞	《3》尾上菊之助	《4》市川男女蔵	《2》市川照蔵	《4》坂東竹三郎	《6》坂東彦三郎	日本俳優学校劇団公演。 《6》尾上菊五郎指導出演。 《3》河竹新七作。	筋書
1937	昭和12	4/10～	寿劇場	人情噺文七元結 本所割下水左官長兵衛内・吉原角海老内証・浅草吾妻橋身投・本所割下水長兵衛内	《5》市川新之助	坂東八重之丞	市川梅三郎	岩井小紫	《勘助》 中村芝三郎	《1》中村歌扇	坂東市昇	三遊亭円朝原作、榎戸賢二脚色。	筋書
1942	昭和17	1/20～	寿劇場	人情噺文七元結 本所割下水左官長兵衛内・角海老内証・吾妻橋畔身投・再長兵衛内	《5》市川新之助	坂東八重之丞	市川梅三郎	市川福之助	沢村哥川	《3》坂東鶴蔵	坂東市昇		筋書
1942	昭和17	4/1～4/25	歌舞伎座	人情噺文七元結 本所割下水左官長兵衛内・吉原角海老楼・本所大川端・銀町和泉屋・長兵衛内	《6》尾上菊五郎	《女房おかね》 《3》尾上多賀之丞	《3》尾上菊之助	《4》市川男女蔵	《2》市川照蔵	《3》中村時蔵	《6》大谷友右衛門	三遊亭円朝口演。	筋書
1942	昭和17	4/未詳～	満洲国	文七元結								《6》尾上菊五郎一座。	『近代歌舞伎年表・京都篇』

「人情噺文七元結」上演年表

西暦	和暦	月/日	劇場	外題	左官長兵衛	女房お兼	娘お久	和泉屋手代文七	家主甚八	角海老お駒	和泉屋清兵衛	備考	典拠
1943	昭和18	6/10~6/13	京都西陣劇場	文七元結三場								市川巖笑ほか。	『近代歌舞伎年表・京都篇』
1943	昭和18	11/9~	寿劇場	人情噺文七元結 割下水長兵衛内・ 角海老楼内証・吾妻橋畔身投・再長兵衛内	《5》市川新之助	坂東八重之丞	市川鯉之助	[市川福之助]	沢村紀三郎	中村鶴太郎	坂東市昇	三遊亭円朝口演。	筋書
1944	昭和19	10/3~10/31	新橋演舞場	人情噺文七元結 本所割下水左官長兵衛内・吉原角海老楼・本所大川端・長兵衛内	《6》尾上菊五郎	《3》尾上多賀之丞	《3》尾上菊之助	《4》市川男蔵	《2》市川照蔵	《2》市川滝之丞	《3》尾上鯉三郎	《3》河竹新七作、竹柴金作作。	筋書
1944	昭和19	11/25~	寿劇場	人情噺文七元結 割下水長兵衛内・ 角海老内証・吾妻橋畔・再長兵衛内	《5》市川新之助	《3》坂東鶴蔵	市川升之丞	市川福之助	沢村紀三郎	《駒五郎》 中村吉次	助十郎	竹柴金作脚色。	筋書
1945	昭和20	12/1~12/26	京都南座	人情噺文七元結 左官長兵衛内・吉原角海老楼・本所大川端・元の長兵衛内	《6》尾上菊五郎	《女房おかね》 《3》尾上多賀之丞	《15》市村家橘	《2》尾上松緑	《2》市川照蔵	《3》中村梅玉	《8》沢村訥子	《3》河竹新七作。	『近代歌舞伎年表・京都篇』
1947	昭和22	3/3~3/25	三越劇場	人情話文七元結 左官屋長兵衛内・ 角海老・大川端・ 左官屋長兵衛内	《4》市川男蔵	《3》尾上多賀之丞	《2》市川子団次	《5》沢村田之助	坂東鶴右衛門	《4》沢村鉄之助	《2》中村竹三郎	三遊亭円朝口演、竹柴金作脚色。	筋書
1947	昭和22	7/22~9/14	地方公演	文七元結									『前進座年表〈新訂〉』
1949	昭和24	3/3~3/20	名古屋御園座	人情話文七元結 左官長兵衛内・角海老・大川端・元の長兵衛内	《2》市川猿之助	《2》中村芝鶴	《5》片岡芦燕	《3》市川段四郎	《2》市川左文次	《4》坂東秀調	《2》市川荒次郎	三遊亭円朝口演、竹柴金作脚色。	筋書
1949	昭和24	4/6~4/27	大阪大阪歌舞伎座	人情話七元結 左官長兵衛内・新吉原角海老・本所大川端・元の長兵衛内	《2》市川猿之助	《2》中村鴈治郎	《4》坂東鶴之助	《3》市川段四郎	《2》市川荒次郎	《4》中村富十郎	《5》中村福助〈高砂屋〉	三遊亭円朝口演、竹柴金作脚色。	筋書
1949	昭和24	5/5~5/29	東京劇場	人情噺文七元結 左官長兵衛内・新吉原角海老・大川端・元の長兵衛内	《2》市川猿之助	《2》中村芝鶴	《3》市川松鳶	《3》市川段四郎	《2》市川荒次郎	《4》坂東秀調	《2》市川左文次		筋書

「人情噺文七元結」上演年表

西暦	和暦	月/日	劇場	外題	左官長兵衛	女房お兼	娘お久	和泉屋手代文七	家主甚八	角海老お駒	和泉屋清兵衛	備考	典拠
1949	昭和24	9/18~11/18	地方公演	文七元結	《6》瀬川菊之丞	川路夏子	弘子	坂東秀弥					『前進座年表<新訂>』
1950	昭和25	1/11~	地方公演	文七元結	《6》瀬川菊之丞	川路夏子	弘子	坂東秀弥					『前進座年表<新訂>』
1950	昭和25	11/2~11/27	地方公演	人情噺文七元結 左官長兵衛内・角海老内所・大川端・元の長兵衛内	《4》市川男 女蔵	〈女房おかね〉 《3》尾上多賀之丞	坂東光伸	《7》中村福助	《2》市川照蔵	〈角海老女将お梅〉 《7》尾上梅幸	鯉三郎	六代目尾上菊五郎追慕興行。三遊亭円朝口述。	筋書
1951	昭和26	1/5~	地方公演	文七元結									『前進座年表<新訂>』
1951	昭和26	2/1~2/18	名古屋御園座	人情話七元結 左官長兵衛内・吉原角海老内証・本所大川端・本銀町和泉屋・大喜利左官長兵衛内	《4》市川男 女蔵	〈女房おかね〉 《3》尾上多賀之丞	坂東光伸	《7》坂東彦三郎	《2》市川照蔵	〈亭主〉 《2》尾上松緑	《2》河原崎権十郎	六代目菊五郎追善。三遊亭円朝口演、竹柴金作脚色。	筋書
1952	昭和27	1/2~1/27	新橋演舞場	人情話文七元結 左官長兵衛内・吉原角海老内証・本所大川端・銀町和泉屋・元の長兵衛内	《4》市川男 女蔵	〈女房おかね〉 《7》尾上梅幸	《7》中村福助	《7》坂東彦三郎	《2》市川照蔵	《3》尾上多賀之丞	《2》河原崎権十郎	三遊亭円朝口演、竹柴金作脚色。	筋書
1952	昭和27	11/1~11/25	大阪大阪歌舞伎座	人情噺文七元結 割下水長兵衛内・吉原角海老内証・大川端・元の長兵衛内	《3》市川左 団次	〈女房おかね〉 《3》尾上多賀之丞	《7》中村福助	《7》坂東彦三郎	《2》市川照蔵	《7》尾上梅幸	《2》河原崎権十郎	三代目市川左団次襲名披露。三遊亭円朝口述、竹柴金作脚色。	筋書
1956	昭和31	1/2~2/3	新橋演舞場	人情噺文七元結 割下水長兵衛内・角海老内証・大川端・元の長兵衛内	《3》市川左 団次	〈女房おかね〉 《3》尾上多賀之丞	《7》中村福助	《17》市村羽左衛門	《3》坂東薪蔵	《7》尾上梅幸	《3》尾上鯉三郎	三遊亭円朝口演。	筋書
1957	昭和32	2/5~2/25	東横ホール	人情噺文七元結 本所割下水長兵衛内・角海老内証・大川端・元の長兵衛内	《3》市川左 団次	〈女房おかね〉 《3》尾上多賀之丞	《4》沢村由次郎	《4》坂東八十助	《3》坂東薪蔵	《3》中村梅花	《3》尾上鯉三郎	松竹東横提携第22回。三遊亭円朝口演。	筋書
1957	昭和32	12/1~12/26	京都南座	人情話文七元結 左官長兵衛内・吉原角海老内証・本所大川端・元の左官長兵衛内	《2》市川猿 之助	〈女房おかね〉 《4》中村富十郎	《7》大谷友右衛門	《2》実川延二郎	《7》市川寿美蔵	《4》尾上菊次郎	《13》片岡仁左衛門	三遊亭円朝原作、竹柴金作脚色。	筋書



西暦	和暦	月/日	劇場	外題	左官長兵衛	女房お兼	娘お久	和泉屋手代文七	家主甚八	角海老お駒	和泉屋清兵衛	備考	典拠
1958	昭和33	1/9~1/16	神戸 神戸新聞会館	人情噺文七元結 左官長兵衛内・新吉原佐野槌・本所大川端・元の長兵衛の内	《3》中村翫右衛門	《5》河原崎国太郎	嵐芳夫	《4》中村梅之助	坂東調右衛門	〈佐野槌女房お駒〉 《5》嵐芳三郎	《5》藤川八蔵	三遊亭円朝原作、平田兼三脚色。	筋書
1958	昭和33	1/18~1/28	名古屋 御園座	人情噺文七元結 左官長兵衛内・新吉原佐野槌・本所大川端・元の長兵衛の内	《3》中村翫右衛門	《5》河原崎国太郎	嵐芳夫	《4》中村梅之助	坂東調右衛門	〈佐野槌女房お駒〉 《5》嵐芳三郎	《5》藤川八蔵	三遊亭円朝原作、平田兼三脚色。	筋書
1958	昭和33	2/1~2/25	大阪 大阪歌舞伎座	人情噺文七元結 左官長兵衛内・新吉原佐野槌・本所大川端・元の長兵衛の内	《3》中村翫右衛門	《5》河原崎国太郎	嵐芳夫	《4》中村梅之助	坂東調右衛門	〈佐野槌女房お駒〉 《5》嵐芳三郎	《5》藤川八蔵	三遊亭円朝原作、平田兼三脚色。	筋書
1958	昭和33	3/1~3/12	京都 南座	人情噺文七元結 左官長兵衛内・新吉原佐野槌・本所大川端・元の長兵衛の内	《3》中村翫右衛門	《5》河原崎国太郎	嵐芳夫	《4》中村梅之助	坂東調右衛門	〈佐野槌女房お駒〉 《5》嵐芳三郎	《5》藤川八蔵	三遊亭円朝原作、平田兼三脚色。	筋書
1958	昭和33	6/4~6/28	新宿松竹座	人情噺文七元結 左官長兵衛内・吉原角海老内証・本所大川端・元の左官長兵衛の家	《2》市川猿之助	《3》市川松蔦	《1》市川春猿	《2》中村又五郎	《2》市川左文次	《2》中村芝鶴	《4》坂東秀調	三遊亭円朝原作、竹柴金作脚色。	筋書
1958	昭和33	12/2~12/8	地方公演	文七元結									『前進座年表〈新訂〉』
1959	昭和34	11/1~11/26	歌舞伎座	人情噺文七元結 本所割下水左官長兵衛内・吉原角海老・本所大川端・元の長兵衛内	《17》中村勘三郎	《2》中村芝鶴	波野久里子	《6》中村芝雀	《6》市川団之助	《6》中村歌右衛門	《8》市川団蔵		筋書
1960	昭和35	1/2~1/26	大阪 中座	人情噺文七元結 左官長兵衛内・新吉原角海老・大川端・元の長兵衛内	《13》片岡仁左衛門	《10》嵐雛助	《2》片岡秀太郎	《2》中村成太郎	《7》市川寿美蔵	《4》尾上菊次郎	《8》沢村訥子	三遊亭円朝原作、竹柴金作脚色。	筋書
1960	昭和35	11/2~11/26	大阪 大阪新歌舞伎座	人情噺文七元結 割下水長兵衛内・角海老内証・大川端・元の長兵衛内	《2》尾上松緑	〈女房おかね〉 《3》尾上多賀之丞	《4》沢村由次郎	《7》中村福助	《3》坂東薪蔵	《7》尾上梅幸	《3》尾上鯉三郎	三遊亭円朝口述。	筋書

西暦	和暦	月/日	劇場	外題	左官長兵衛	女房お兼	娘お久	和泉屋手代文七	家主甚八	角海老お駒	和泉屋清兵衛	備考	典拠
1960	昭和35	12/1~12/25	歌舞伎座	人情噺文七元結 割下水長兵衛内・ 角海老楼内証・大 川端・元の長兵衛 内	《2》尾上松 緑	〈女房おか ね〉 《3》尾上多 賀之丞・ 《6》尾上菊 蔵	《4》沢村由 次郎	《7》中村福 助	《3》坂東薪 蔵	《13》片岡 我童	《8》市川団 蔵		筋書
1962	昭和37	12/1~12/23	東横ホール	人情噺文七元結 割下水長兵衛内・ 角海老内証・大川 端・元の長兵衛内	《3》市川左 団次	〈女房おか ね〉 《3》尾上多 賀之丞	《5》尾上丑 之助	《7》坂東簀 助	《3》尾上多 賀蔵	《3》河原崎 権十郎	《3》尾上鯉 三郎	松竹東横提携 第63回。三遊 亭円朝口述、 竹柴金作脚 色。	筋書
1963	昭和38	3/2~3/26	地方公演	人情噺文七元結 本所割下水長兵衛 内・角海老内証・ 大川端・元の長兵 衛内	《3》市川左 団次	《6》尾上菊 蔵	《4》沢村由 次郎	《5》尾上丑 之助	尾上多賀蔵	坂東羽三郎	《5》尾上新 七	三遊亭円朝口 述、竹柴金作 脚色。	筋書
1963	昭和38	10/14~ 10/24・ 10/29・	東京厚生年 金会館	文七元結	《3》中村翫 右衛門	《5》河原崎 国太郎	嵐芳夫	《4》中村梅 之助				三遊亭円朝原 作、平田兼三 脚色。	『前進座年表 〈新訂〉』
1964	昭和39	1/9~1/14	大阪 毎日ホール	人情噺文七元結 左官長兵衛内・新 吉原佐野槌・本所 大川端・元の長兵 衛内	《3》中村翫 右衛門	《5》河原崎 国太郎	嵐芳夫	《4》中村梅 之助	坂東調右衛 門	〈佐野槌女 主人お駒〉 瀬川尾上菊 之丞	中村公三郎	三遊亭円朝原 作、平田兼三 脚色。	筋書
1966	昭和41	2/1~2/26	歌舞伎座	人情噺文七元結 本所割下水長兵衛 内・吉原角海老・ 本所大川端・元の 長兵衛内	《2》尾上松 緑	〈女房おか ね〉 《3》尾上多 賀之丞	光本幸子	《7》坂東簀 助	《5》尾上新 七	《7》尾上梅 幸	《8》沢村宗 十郎	新派合同。三 遊亭円朝口 演、竹柴金作 脚色。	筋書
1966	昭和41	4/1~4/25	大阪 大阪新歌舞 伎座	人情噺文七元結 本所割下水長兵衛 内・吉原角海老内 証・大川端・元の 長兵衛内	《8》市川中 車	〈女房おか ね〉 《2》中村又 五郎	黒木祝子	《3》市川猿 之助	《2》中村吉 十郎	中村万之丞	寿之助	三遊亭円朝 作、竹柴金作 脚色。	筋書
1966	昭和41	10/25~ 11/26	地方公演	人情噺文七元結 全四場	《17》市村 羽左衛門	〈女房おか ね〉 《7》市川門 之助	坂東橘	《3》河原崎 権十郎	《3》坂東薪 蔵	《5》片岡我 童	《2》助高屋 小伝次	《3》河竹新七 作。	筋書

西暦	和暦	月/日	劇場	外題	左官長兵衛	女房お兼	娘お久	和泉屋手代文七	家主甚八	角海老お駒	和泉屋清兵衛	備考	典拠
1968	昭和43	1/2~1/27	歌舞伎座	人情噺文七元結 本所割下水左官長兵衛内・吉原角海老内証・本所大川端・もとの長兵衛内	《17》中村勘三郎	〈女房おかね〉 《4》中村雀右衛門	波野久里子	《3》市川猿之助	《3》尾上鯉三郎	《7》尾上梅幸	《2》中村歌門	三遊亭円朝口演、竹柴金作脚色。	筋書
1968	昭和43	2/3~2/27	名古屋御園座	人情噺文七元結 左官長兵衛内・角海老内証・大川端・元の長兵衛内	《6》市村竹之丞	〈女房おかね〉 藤間紫	沢村精四郎	片岡孝夫	《5》片岡愛之助	《5》沢村訥升	坂東好太郎	三遊亭円朝口演、竹柴金作脚色。	筋書
1969	昭和44	11/30~12/25	京都南座	人情噺文七元結 本所割下水長兵衛内・吉原角海老・本所大川端・元の長兵衛内	《17》中村勘三郎	《7》中村芝翫	沢村精四郎	《4》尾上菊之助	《5》片岡愛之助	《7》尾上梅幸	《13》片岡仁左衛門	三遊亭円朝口演、竹柴金作脚色。	筋書
1971	昭和46	1/3~1/26	歌舞伎座	人情噺文七元結 本所割下水長兵衛内・吉原角海老内証・大川端・もとの長兵衛内	《17》中村勘三郎	《7》中村芝翫	《5》中村松江	沢村精四郎	《5》片岡愛之助	《6》中村歌右衛門	《3》実川延若	三遊亭円朝口演、竹柴金作脚色。	筋書
1971	昭和46	12/4~12/26	新橋演舞場	人情噺文七元結 左官長兵衛の家・佐野槌の女主人部屋・大川端・元の長兵衛の家	《3》中村翫右衛門	《5》河原崎国太郎	宮本圭子	嵐芳夫	《6》瀬川菊之丞	〈佐野槌女主人お駒〉 《5》嵐芳三郎	《5》藤川八蔵	三遊亭円朝原作、平田兼三脚色。	筋書
1973	昭和48	7/4~7/9	京都南座	人情噺文七元結 一幕四場	《3》中村翫右衛門	《5》河原崎国太郎	小堀薫	嵐芳夫	坂東調右衛門	〈佐野槌女主人お駒〉 《5》嵐芳三郎	《6》瀬川菊之丞	三遊亭円朝原作、平田兼三脚色。	筋書
1973	昭和48	7/13~7/19	大阪サンケイホール	人情噺文七元結 一幕四場	《3》中村翫右衛門	《5》河原崎国太郎	小堀薫	嵐芳夫	坂東調右衛門	〈佐野槌女主人お駒〉 《5》嵐芳三郎	《6》瀬川菊之丞	三遊亭円朝原作、平田兼三脚色。	『前進座年表〈新訂〉』
1973	昭和48	7/21~7/27	名古屋中日劇場	人情噺文七元結 左官長兵衛の家・佐野槌の女主人部屋・大川端・元の長兵衛の家	《3》中村翫右衛門	《5》河原崎国太郎	小堀薫	嵐芳夫	坂東調右衛門	〈佐野槌女主人お駒〉 《5》嵐芳三郎	《6》瀬川菊之丞	三遊亭円朝原作、平田兼三脚色。	筋書

西暦	和暦	月/日	劇場	外題	左官長兵衛	女房お兼	娘お久	和泉屋手代文七	家主甚八	角海老お駒	和泉屋清兵衛	備考	典拠
1974	昭和49	5/1~5/26	大阪 大阪新歌舞 伎座	人情噺文七元結 本所割下水長兵衛 内・吉原角海老内 証・大川端・元の 長兵衛内	《2》尾上松 緑	《3》尾上多 賀之丞	《8》大谷友 右衛門	《1》尾上辰 之助	《5》尾上新 七	《3》河原崎 権十郎	《17》市村 羽左衛門	三遊亭円朝口 演。	筋書
1974	昭和49	10/3~10/26	地方公演	人情噺文七元結	《2》中村又 五郎	《1》松本幸 雀		《3》松本錦 吾					『演劇界』昭 和49年8月号
1976	昭和51	2/1~2/26	歌舞伎座	人情噺文七元結 本所割下水長兵衛 内・吉原角海老内 証・大川端・元の 長兵衛内	《2》尾上松 緑	《3》尾上多 賀之丞	《7》中村芝 雀	《10》市川 海老蔵	《5》尾上新 七	《3》河原崎 権十郎	《17》市村 羽左衛門	三遊亭円朝口 演、竹柴金作 脚色。	筋書
1978	昭和53	2/2~2/26	新橋演舞場	人情噺文七元結 本所割下水長兵衛 内・角海老内証・ 大川端・元の長兵 衛内	《17》中村 勘三郎	《2》沢村藤 十郎	岡村清太郎	片岡孝夫	坂東弥五郎	《5》坂東玉 三郎・ 《2》中村扇 雀	坂東好太郎	三遊亭円朝口 演、竹柴金作 脚色。	筋書
1978	昭和53	11/2~11/25	歌舞伎座	人情噺文七元結 本所割下水左官長 兵衛内・吉原角海 老内証・本所大川 端・元の長兵衛内	《2》尾上松 緑	《7》中村芝 翫	《5》中村松 江	《8》中村福 助	《1》利根川 金十郎	《4》中村雀 右衛門	《5》市川男 女蔵	三遊亭円朝口 演、竹柴金作 脚色。	筋書
1979	昭和54	5/4~5/11	大阪 朝日座	人情噺文七元結 本所割下水長兵衛 内・角海老内証・ 大川端・元の長兵 衛内	《17》中村 勘三郎	《2》沢村藤 十郎	岡村清太郎	《5》中村勘 九郎	坂東弥五郎	《5》中村富 十郎	《13》中村 勘五郎	関西で歌舞伎 を育てる会結 成第1回。三遊 亭円朝原作、 竹柴金作脚 色。	筋書
1979	昭和54	5/12~5/27	大阪 朝日座	人情噺文七元結 本所割下水長兵衛 内・角海老内証・ 大川端・元の長兵 衛内	《17》中村 勘三郎	《2》沢村藤 十郎	岡村清太郎	《5》坂東八 十助	坂東弥五郎	《5》中村富 十郎	《13》中村 勘五郎	関西で歌舞伎 を育てる会結 成第1回。三遊 亭円朝原作、 竹柴金作脚 色。	筋書
1980	昭和55	6/5~6/22	東横劇場	人情噺文七元結	《3》中村翫 右衛門	《5》河原崎 国太郎	今村文美	今村民路	市川岩五郎	《佐野槿女 主人お駒》 《5》河原崎 国太郎	中村公三郎	三遊亭円朝原 作、平田兼三 脚色。	筋書

西暦	和暦	月/日	劇場	外題	左官長兵衛	女房お兼	娘お久	和泉屋手代文七	家主甚八	角海老お駒	和泉屋清兵衛	備考	典拠
1981	昭和56	1/2~1/26	歌舞伎座	人情噺文七元結 本所割下水長兵衛内・角海老内証・大川端・元の長兵衛内	《17》中村勘三郎	《4》中村雀右衛門	《5》中村兎太郎	《5》中村勘九郎	坂東弥五郎	《6》中村歌右衛門	《8》松本幸四郎	三遊亭円朝口演、竹柴金作脚色。	筋書
1981	昭和56	4/17~6/25	地方公演	人情噺文七元結	《3》中村翫右衛門	《5》河原崎国太郎	今村文美	藤川矢之輔		《佐野槌女主人お駒》 《5》河原崎国太郎		三遊亭円朝原作、平田兼三脚色。	『前進座年表〈新訂〉』
1987	昭和62	3/3~3/27	歌舞伎座	人情噺文七元結 本所割下水長兵衛内・角海老内証・大川端・元の長兵衛内	《17》中村勘三郎	《2》沢村藤十郎	《7》市川染五郎	《5》坂東八十助	坂東弥五郎	《5》坂東玉三郎	《13》片岡仁左衛門	十四世守田勘弥十三回忌追善。三遊亭円朝口演、竹柴金作脚色。	筋書
1987	昭和62	10/2~10/26	名古屋御園座	人情噺文七元結 本所割下水長兵衛内・角海老内証・大川端・元の長兵衛内	《17》中村勘三郎	《2》沢村藤十郎	《7》中村芝雀	《5》坂東八十助	市村鶴蔵	《7》尾上菊五郎	《3》河原崎権十郎	三遊亭円朝口演、竹柴金作脚色。	筋書
1988	昭和63	10/30~11/25	地方公演	人情噺文七元結 長兵衛内・角海老内証・大川端・元の長兵衛内	《9》坂東三津五郎	《6》沢村田之助	《2》市川新車	《5》坂東八十助	《1》松本幸右衛門	《7》中村芝雀	市村鶴蔵	文化庁移動芸術祭歌舞伎公演。三遊亭円朝口演、竹柴金作脚色。	筋書
1989	平成1	3/3~3/27	歌舞伎座	人情噺文七元結 本所割下水長兵衛内・角海老内証・大川端・元の長兵衛内	《2》中村吉右衛門	《2》沢村藤十郎	片岡孝太郎	《5》坂東八十助	坂東弥五郎	《9》沢村宗十郎	《4》市川左団次	《2》尾上松緑指導、三遊亭円朝口演、竹柴金作脚色。	筋書
1990	平成2	11/10~11/28	前進座劇場	人情噺文七元結	《4》中村梅之助	《6》嵐芳三郎	今村文美	嵐市太郎		《佐野槌女主人お駒》 《1》山村邦次郎		三遊亭円朝原作、平田兼三脚色。	『前進座年表〈新訂〉』
1990	平成2	12/4~12/9	前進座劇場	人情噺文七元結	《4》中村梅之助	《6》嵐芳三郎	今村文美	嵐市太郎		《佐野槌女主人お駒》 《1》山村邦次郎		三遊亭円朝原作、平田兼三脚色。	『前進座年表〈新訂〉』
1990	平成2	12/11~12/15	高崎群馬県民会館	人情噺文七元結	《4》中村梅之助	《6》嵐芳三郎	今村文美	嵐市太郎		《佐野槌女主人お駒》 《1》山村邦次郎		三遊亭円朝原作、平田兼三脚色。	『前進座年表〈新訂〉』

西暦	和暦	月/日	劇場	外題	左官長兵衛	女房お兼	娘お久	和泉屋手代文七	家主甚八	角海老お駒	和泉屋清兵衛	備考	典拠
1991	平成3	1/3~1/22	京都 祇園甲部歌 舞練場	人情噺文七元結 左官長兵衛の家・ 佐野槌の女主人部 屋・大川端・元の 長兵衛の家	《4》中村梅 之助	《6》嵐芳三 郎	小林祥子	嵐市太郎	市川祥之助	〈佐野槌女 主人お駒〉 《1》山村邦 次郎	《5》中村鶴 蔵	前進座創立六 十周年記念。 三遊亭円朝原 作、平田兼三 脚色。	筋書
1991	平成3	1/24~4/20	地方公演	人情噺文七元結	《4》中村梅 之助	《6》嵐芳三 郎	小林祥子	《2》中村梅 雀		《1》山村邦 次郎			『前進座年表 〈新訂〉』
1991	平成3	6/1~6/20	地方公演	人情噺文七元結	《4》中村梅 之助	《6》嵐芳三 郎	小林祥子	《2》中村梅 雀		《1》山村邦 次郎			『前進座年表 〈新訂〉』
1991	平成3	11/4~12/12	地方公演	人情噺文七元結	《4》中村梅 之助	《6》嵐芳三 郎	小林祥子	《2》中村梅 雀		《1》山村邦 次郎			『前進座年表 〈新訂〉』
1993	平成5	1/3~1/26	国立劇場	人情噺文七元結 本所割下水長兵衛 内・吉原角海老内 証・本所大川端・ 元の長兵衛の内	《5》中村富 十郎	《6》沢村田 之助	《6》尾上丑 之助	《2》尾上辰 之助	山崎権一	《7》尾上菊 五郎	《2》中村又 五郎	※第一七七回 国立劇場歌舞 伎公演。三遊 亭円朝口演、 竹柴金作脚 色。	筋書
1993	平成5	2/20~4/18	地方公演	人情噺文七元結	《4》中村梅 之助	《6》嵐芳三 郎	上沢	《2》中村梅 雀		邦次郎			『前進座年表 〈新訂〉』
1993	平成5	10/1~10/25	歌舞伎座	人情噺文七元結 本所割下水長兵衛 内・吉原角海老内 証・本所大川端・ 元の長兵衛の内	《5》中村勘 九郎	《2》沢村藤 十郎	松たか子	中村浩太郎	坂東弥五郎	《5》坂東玉 三郎	《5》片岡我 当	三遊亭円朝口 演、榎戸賢治 作、落語三遊 派宗家監修。	筋書
1995	平成7	7/2~7/27	大阪 中座	人情噺文七元結 本所割下水長兵衛 内・吉原角海老内 証・本所大川端・ 元の長兵衛の内	《5》中村勘 九郎	《2》沢村藤 十郎	中村芝のぶ	《7》市川染 五郎	《1》松本幸 右衛門	《9》中村福 助	《4》市川左 団次	関西・歌舞伎 を愛する会第4 回公演。三遊 亭円朝口演、 榎戸賢治作、 落語三遊派宗 家監修。	筋書

「人情噺文七元結」上演年表

西暦	和暦	月/日	劇場	外題	左官長兵衛	女房お兼	娘お久	和泉屋手代文七	家主甚八	角海老お駒	和泉屋清兵衛	備考	典拠
1995	平成7	11/1~11/25	歌舞伎座	人情噺文七元結 本所割下水左官長兵衛内・吉原角海老内証・本所大川端・元の長兵衛の内	《7》尾上菊五郎	《5》中村松江	沢村宗丸	《6》尾上丑之助	《2》尾上松太郎	《9》沢村宗十郎	《3》河原崎権十郎	《6》中村歌右衛門芸術監督、三遊亭円朝口演、榎戸賢治作。 1~25日、市村鶴蔵休演。家主甚八（尾上松太郎）、手代喜助（坂東橘太郎）。	筋書
1996	平成8	6/29~7/14	地方公演	人情噺文七元結 本所割下水左官長兵衛内・吉原角海老内証・本所大川端・元の長兵衛の内	《7》尾上菊五郎	《6》沢村田之助	沢村宗丸	《5》尾上菊之助	《2》尾上松太郎	《2》市村萬次郎	《9》坂東三津五郎	〔第30回公文協歌舞伎西別コース〕三遊亭円朝口演、榎戸賢治作。	筋書
1996	平成8	7/22~7/24	地方公演	人情噺文七元結 本所割下水左官長兵衛内・吉原角海老内証・本所大川端・元の長兵衛の内	《7》尾上菊五郎	《6》沢村田之助	沢村宗丸	《5》尾上菊之助	《2》尾上松太郎	《2》市村萬次郎	《9》坂東三津五郎	文化庁青少年芸術劇場。三遊亭円朝口演、榎戸賢治作。	筋書
1996	平成8	7/27	長野北野文芸座	人情噺文七元結 本所割下水左官長兵衛内・吉原角海老内証・本所大川端・元の長兵衛の内	《7》尾上菊五郎	《6》沢村田之助	沢村宗丸	《5》尾上菊之助	《2》尾上松太郎	《2》市村萬次郎	《9》坂東三津五郎	善光寺歌舞伎。三遊亭円朝口演、榎戸賢治作。	筋書
1996	平成8	9/3~9/16	江戸東京博物館	人情噺文七元結 二幕四場	《2》松本幸太郎	《3》中村歌女之丞	《2》尾上音女	中村又一	尾上辰夫	《3》尾上梅之助	尾上佳緑	三遊亭円朝口演、竹柴金作脚色。《3》河原崎権十郎監修、《1》松本幸右衛門指導。	筋書
1996	平成8	11/1~11/25	京都南座	人情噺文七元結 本所割下水左官長兵衛内・吉原角海老内証・本所大川端・元の長兵衛の内	《7》尾上菊五郎	《6》沢村田之助	沢村宗丸	《2》尾上辰之助	《2》尾上松太郎	《7》中村芝翫	《12》市川団十郎	五代目尾上菊之助襲名披露。三遊亭円朝口演、榎戸賢治作。	筋書

西暦	和暦	月/日	劇場	外題	左官長兵衛	女房お兼	娘お久	和泉屋手代文七	家主甚八	角海老お駒	和泉屋清兵衛	備考	典拠
1997	平成9	1/2~1/26	歌舞伎座	人情噺文七元結 本所割下水左官長兵衛内・吉原角海老内証・本所大川端・元の長兵衛の内	《5》中村勘九郎	《2》沢村藤十郎	《2》中村勘太郎	《7》市川染五郎	坂東弥五郎・《2》坂東吉弥	《7》中村芝翫	《3》河原崎権十郎	《6》中村歌右衛門芸術監督、三遊亭円朝口演、榎戸賢治作、落語三遊派宗家監修。	筋書
1997	平成9	4/1~4/25	名古屋御園座	人情噺文七元結 本所割下水左官長兵衛内・吉原角海老内証・本所大川端・元の長兵衛の内	《5》中村富十郎	《2》沢村藤十郎	沢村宗丸	《2》尾上辰之助	《7》中村四郎五郎	《5》中村時蔵	《6》尾上松助	三遊亭円朝口演、榎戸賢治作。	筋書
1998	平成10	8/7~8/9	国立劇場小劇場	人情噺文七元結 本所割下水長兵衛内・吉原角海老内証・本所大川端・元の長兵衛の内	中村吉三郎	《3》中村歌女之丞	中村鴈成	中村芳彦	坂東八重蔵	尾上梅之丞	中村富二郎	第二二回稚魚の会。《2》中村又五郎総監修、三遊亭円朝口演、竹柴金作脚色、《6》沢村田之助指導。	筋書
1999	平成11	2/1~2/25	大阪松竹座	人情噺文七元結 本所割下水左官長兵衛内・吉原角海老内証・本所大川端・元の長兵衛の内	《7》尾上菊五郎	《5》中村松江	沢村宗丸	《5》尾上菊之助	《2》尾上松太郎	《5》中村時蔵	《4》市川左団次	三遊亭円朝口演、榎戸賢治作。	筋書
1999	平成11	5/2~5/26	歌舞伎座	人情噺文七元結 本所割下水左官長兵衛内・吉原角海老内証・本所大川端・元の長兵衛の内	《7》尾上菊五郎	《6》沢村田之助	沢村宗丸	《2》尾上辰之助	《2》尾上松太郎	《4》中村雀右衛門	《4》市川左団次	六代目尾上菊五郎五十回忌追善。《6》中村歌右衛門芸術監督、三遊亭円朝口演、竹柴金作脚色。	筋書



西暦	和暦	月/日	劇場	外題	左官長兵衛	女房お兼	娘お久	和泉屋手代文七	家主甚八	角海老お駒	和泉屋清兵衛	備考	典拠
1999	平成11	10/30～11/26	地方公演	人情噺文七元結 本所割下水左官長兵衛内・吉原角海老・本所大川端・元の長兵衛内	《5》中村富十郎	《5》中村松江	《3》沢村宗之助	《4》中村玉太郎	《1》松本幸右衛門	《6》中村東蔵	《6》尾上松助	松竹大歌舞伎・文化庁移動芸術祭巡回公演。三遊亭円朝口演、竹柴金作脚色。	筋書
1999	平成11	11/1	徳島徳島市立文化センター	人情噺文七元結 本所割下水左官長兵衛内・吉原角海老・本所大川端・元の長兵衛内	《5》中村富十郎	《5》中村松江	《3》沢村宗之助	《4》中村玉太郎	《1》松本幸右衛門	《6》中村東蔵	《6》尾上松助	全日空徳島就航五周年記念、全日空特別公演大歌舞伎。三遊亭円朝口演。	筋書
2000	平成12	10/1～10/25	名古屋御園座	人情噺文七元結 本所割下水左官長兵衛内・吉原角海老内証・本所大川端・元の長兵衛の内	《7》尾上菊五郎	《6》沢村田之助	《3》沢村宗之助	《7》市川新之助	《2》尾上松太郎	《5》中村松江	《12》市川団十郎	三遊亭円朝口演、竹柴金作脚色。	筋書
2001	平成13	7/3～7/26	国立劇場	人情噺文七元結 本所割下水長兵衛内・吉原角海老内証・本所大川端・元の長兵衛の内	《7》尾上菊五郎	《6》沢村田之助	《2》尾上松也	《5》尾上菊之助	山崎権一	《2》市村萬次郎	《6》尾上松助	※第五九回国立劇場歌舞伎鑑賞教室。三遊亭円朝口演、竹柴金作脚色。	筋書
2001	平成13	7/27・7/28	横浜神奈川県立青少年センターホール	人情噺文七元結 本所割下水長兵衛内・吉原角海老内証・本所大川端・元の長兵衛の内	《7》尾上菊五郎	《6》沢村田之助	《2》尾上松也	《5》尾上菊之助	山崎権一	《2》市村萬次郎	《6》尾上松助	※第五九回国立劇場歌舞伎鑑賞教室。三遊亭円朝口演、竹柴金作脚色。	筋書
2002	平成14	1/2～1/26	歌舞伎座	人情噺文七元結 本所割下水左官長兵衛内・吉原角海老内証・本所大川端・元の長兵衛の内	《2》中村吉右衛門	《5》中村松江	《3》沢村宗之助	《7》市川染五郎	《7》中村四郎五郎	《5》坂東玉三郎	《4》市川左団次	三遊亭円朝口演、竹柴金作補綴。	筋書

西暦	和暦	月/日	劇場	外題	左官長兵衛	女房お兼	娘お久	和泉屋手代文七	家主甚八	角海老お駒	和泉屋清兵衛	備考	典拠
2002	平成14	2/1~2/25	福岡博多座	人情噺文七元結 本所割下水左官長兵衛内・吉原角海老内証・本所大川端・元の長兵衛の内	《7》尾上菊五郎	《6》沢村田之助	《2》尾上松也	《2》尾上辰之助	《2》尾上松太郎	《5》中村時蔵	《8》坂東彦三郎	鳶頭伊兵衛（《10》坂東三津五郎）。十代目坂東三津五郎襲名披露。三遊亭円朝口演、竹柴金作脚色。	筋書
2003	平成15	1/3~1/13	前進座劇場	人情噺文七元結	藤川矢之輔	《6》河原崎国太郎	杉本雅代	嵐広也	志村智雄	〈佐野槌女主人お駒〉 《7》瀬川菊之丞	《5》中村鶴蔵	三遊亭円朝原作、平田兼三脚色。	筋書
2003	平成15	10/2~10/26	平成中村座	人情噺文七元結 本所割下水左官長兵衛内・吉原角海老内証・本所大川端・元の左官長兵衛の内	《5》中村勘九郎	《3》中村扇雀	坂東新悟	《2》中村七之助	《7》中村四郎五郎	《9》中村福助	坂東弥十郎	三遊亭円朝口演、榎戸賢治作、落語三遊派宗家監修。	筋書
2005	平成17	1/2~1/26	新橋演舞場	人情噺文七元結 本所割下水左官長兵衛内・吉原角海老内証・本所大川端・元の長兵衛の内	《7》尾上菊五郎	《6》沢村田之助	《2》尾上右近	《5》尾上菊之助	《4》市川左団次	《5》中村時蔵	《12》市川団十郎	三遊亭円朝口演、竹柴金作補綴。	筋書
2005	平成17	11/1~11/25	歌舞伎座	人情噺文七元結 本所割下水左官長兵衛内・吉原角海老内証・本所大川端・元の長兵衛の内	《9》松本幸四郎	《5》沢村鉄之助	《3》沢村宗之助	《7》市川染五郎	《1》松本幸右衛門	《2》片岡秀太郎	《4》市川段四郎	二代目尾上右近襲名披露。三遊亭円朝口演、榎戸賢治作。	筋書
2006	平成18	6/2~6/26	福岡博多座	人情噺文七元結 本所割下水長兵衛内・吉原角海老内証・本所大川端・元の長兵衛の内	《18》中村勘三郎	《3》中村扇雀	中村芝のぶ	《2》中村勘太郎	《7》中村四郎五郎	《7》中村芝翫	《5》中村富十郎	中村勘九郎改め十八代目中村勘三郎襲名披露。三遊亭円朝口演、榎戸賢治作、落語三遊派宗家監修。	筋書

西暦	和暦	月/日	劇場	外題	左官長兵衛	女房お兼	娘お久	和泉屋手代文七	家主甚八	角海老お駒	和泉屋清兵衛	備考	典拠
2007	平成19	10/2~10/26	新橋演舞場	人情噺文七元結 本所割下水長兵衛内・吉原角海老内証・本所大川端・元の長兵衛の内	《18》中村勘三郎	《3》中村扇雀	中村芝のぶ	《2》中村勘太郎	中村仲二郎	《7》中村芝翫	坂東弥十郎	三遊亭円朝口演、榎戸賢治作、山田洋次補綴、落語三遊派宗家監修。	筋書
2009	平成21	2/1~2/25	歌舞伎座	人情噺文七元結 本所割下水左官長兵衛内・吉原角海老内証・本所大川端・元の長兵衛の内	《7》尾上菊五郎	《5》中村時蔵	《2》尾上右近	《5》尾上菊之助	《4》市川左団次	《7》中村芝翫	《10》坂東三津五郎	鳶頭伊兵衛（《2》中村吉右衛門）。歌舞伎座さよなら公演。三遊亭円朝口演、榎戸賢治作。	筋書
2010	平成22	7/12~7/29	赤坂ACTシアター	人情噺文七元結 本所割下水長兵衛内・吉原角海老内証・本所大川端・元の長兵衛の内	《18》中村勘三郎	《3》中村扇雀	中村芝のぶ	《2》中村勘太郎	井之上隆志	《2》片岡秀太郎	坂東弥十郎	〔第2回赤坂大歌舞伎〕三遊亭円朝口演、榎戸賢治作、山田洋次補綴、落語三遊派宗家監修。	筋書
2011	平成23	9/2~9/26	大阪 大阪新歌舞伎座	人情噺文七元結 本所割下水左官長兵衛内・吉原角海老内証・本所大川端・元の長兵衛の内	《18》中村勘三郎	《3》中村扇雀	中村芝のぶ	《2》中村勘太郎	中村小三郎	《3》中村歌女之丞	《3》中村橋之助	三遊亭円朝口演、榎戸賢治作、山田洋次補綴、落語三遊派宗家監修。	筋書
2012	平成24	11/1~11/25	新橋演舞場	人情噺文七元結 本所割下水左官長兵衛内・吉原角海老内証・本所大川端・元の長兵衛の内	《7》尾上菊五郎	《5》中村時蔵	《2》尾上右近	《5》尾上菊之助	《2》尾上松太郎	《2》中村魁春	《6》中村東蔵	酒屋丁稚三吉（藤間大河＝《3》尾上左近）三遊亭円朝口演、榎戸賢治作。	筋書
2014	平成26	10/5~10/27	名古屋 日本特殊陶業市民会館 ビレッジ ホール	人情噺文七元結 本所割下水左官長兵衛内・吉原角海老内証・本所大川端・元の長兵衛の内	《7》尾上菊五郎	《5》中村時蔵	《2》尾上右近	《4》中村梅枝	《2》尾上松太郎	《5》尾上菊之助	《4》市川左団次	三遊亭円朝口演、榎戸賢治作。	筋書

西暦	和暦	月/日	劇場	外題	左官長兵衛	女房お兼	娘お久	和泉屋手代文七	家主甚八	角海老お駒	和泉屋清兵衛	備考	典拠
2015	平成27	5/9~5/20	国立劇場	人情噺文七元結 一幕四場	藤川矢之輔	《6》河原崎 国太郎	本村雅樹	忠村臣弥	《4》中村梅 之助	《佐野槌女 主人お駒》 山崎辰三郎	嵐圭史	三遊亭円朝原 作、平田兼三 脚色。	筋書
2015	平成27	10/1~10/25	歌舞伎座	人情噺文七元結 本所割下水左官長 兵衛内・吉原角海 老内証・本所大川 端・元の長兵衛の 内	《7》尾上菊 五郎	《5》中村時 蔵	《2》尾上右 近	《4》中村梅 枝	《2》尾上松 太郎	《5》坂東玉 三郎	《4》市川左 団次	二世尾上松緑 二十七回忌追 善狂言。三遊 亭円朝口演、 榎戸賢治作。	筋書
2017	平成29	12/1~12/18	京都 ロームシア ター京都	人情噺文七元結 本所割下水左官長 兵衛内・吉原角海 老内証・本所大川 端・元の長兵衛の 内	《8》中村芝 翫	《3》中村扇 雀	中村壱太郎	《2》中村七 之助	坂東弥十郎	《2》中村魁 春	《4》中村梅 玉	鳶頭伊兵衛 （《15》片岡 仁左衛門）。 八代目中村芝 翫襲名披露、 四代目中村橋 之助・三代目 中村福之助・ 四代目中村歌 之助襲名披 露。三遊亭円 朝口演、榎戸 賢治作。	筋書
2018	平成30	6/30~7/16	地方公演	人情噺文七元結 本所割下水左官長 兵衛内・吉原角海 老内証・本所大川 端・元の長兵衛内	《8》中村芝 翫	《4》中村梅 花	上村吉太郎	《3》中村福 之助	中村吉三郎	《2》片岡秀 太郎	《4》中村梅 玉	〔公文協歌舞 伎中央コースA プロ〕中村橋 之助改め八代 目中村芝翫襲 名披露、中村 国生改め四代 目中村橋之 助・中村宗生 改め三代目中 村福之助襲名 披露。三遊亭 円朝口演、榎 戸賢治作。	筋書

西暦	和暦	月/日	劇場	外題	左官長兵衛	女房お兼	娘お久	和泉屋手代文七	家主甚八	角海老お駒	和泉屋清兵衛	備考	典拠
2018	平成30	7/16~7/29	地方公演	人情噺文七元結 本所割下水左官長兵衛内・吉原角海老内証・本所大川端・元の長兵衛内	《8》中村芝翫	《4》中村梅花	上村吉太郎	《4》中村橋之助	中村吉三郎	《2》片岡秀太郎	《4》中村梅玉	〔公文協歌舞伎中央コースBプロ〕中村橋之助改め八代目中村芝翫襲名披露、中村国生改め四代目中村橋之助・中村宗生改め三代目中村福之助襲名披露。三遊亭円朝口演、榎戸賢治作。	筋書
2019	平成31	1/19	国立劇場	人情噺文七元結 本所割下水左官長兵衛内・吉原角海老内証	坂東八重之	中村竹蝶	中村好蝶			尾上緑		伝統歌舞伎保存会研修発表会。《7》尾上菊五郎監修、《5》中村時蔵指導、《9》市川団蔵指導、《4》尾上松緑指導、《5》尾上菊之助指導。三遊亭円朝口演、榎戸賢治作。	筋書
2019	平成31	1/19	国立劇場	本所大川端・元の長兵衛の内	尾上音之助	坂東やゑ六	中村好蝶	尾上松悟	尾上音二郎		尾上音一郎	伝統歌舞伎保存会研修発表会。《7》尾上菊五郎監修、《5》中村時蔵指導、《9》市川団蔵指導、《4》尾上松緑指導、《5》尾上菊之助指導。三遊亭円朝口演、榎戸賢治作。	筋書

「人情噺文七元結」上演年表

西暦	和暦	月/日	劇場	外題	左官長兵衛	女房お兼	娘お久	和泉屋手代文七	家主甚八	角海老お駒	和泉屋清兵衛	備考	典拠
2020	令和2	2/2~2/26	歌舞伎座	人情噺文七元結 本所割下水左官長兵衛内・吉原角海老内証・本所大川端・元の長兵衛の内	《7》尾上菊五郎	《5》中村雀右衛門	中村蒼玉	《4》中村梅枝	《4》片岡亀蔵	《5》中村時蔵	《4》市川左団次	小じょくお豆（寺嶋眞秀）。三遊亭円朝口演、榎戸賢治作。	筋書
2021	令和3	1/27	小金井宮地楽器ホール大ホール	人情噺文七元結	藤川矢之輔	早瀬栄之丞	有田佳代	忠村臣弥	松涛喜八郎	〈佐野槌女主人お駒〉山崎辰三郎	武井茂	三遊亭円朝原作、平田兼三脚色。	チラシ
2021	令和3	1/28~2/24	地方公演	人情噺文七元結	藤川矢之輔	早瀬栄之丞	有田佳代	忠村臣弥	松涛喜八郎	〈佐野槌女主人お駒〉山崎辰三郎	武井茂	三遊亭円朝原作、平田兼三脚色。	チラシ